

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 6月号

平成29年6月1日(木)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<http://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』
たしかな学力
ゆたかな心情
たくましい身体

「フェアー」

～三つ子の魂百まで?～

校長 外園 倫生

さわやかな時期は、あっという間に過ぎ、初夏とは、名ばかり例年より早く暑くなってきたような気がいたします。朝夕は、まだ過ごしやすい陽気ですが、お体には十分ご留意ください。第43回体育祭(新華～我が北中に新たな華を咲かす～)を大変暑い中でしたが、大きな成果を上げることが出来ました。これも、日頃より、保護者、地域の皆様の多大なるご理解とご協力の賜物と深く感謝いたします。さいたま市中学校総合体育大会も6月3日(土)から本格的に開催されます。3年生にとっては、中学校最後の大会になります。3年間の集大成として、悔いのない戦いを期待しています。私と教頭で手分けして出来るだけ多くの会場に出向き、生徒の活躍を直接会場にて応援したいと思っております。保護者の皆様にも5月30日付けで種目ごとの会場、初戦開始予定時刻を入れた文書を配布させていただきました。ぜひ熱い声援を各会場でお願いいたします。多くの選手が県大会出場を願っています。すでに5月24日からの通信陸上大会では、県大会出場を果たした選手がおります。おめでとう!!

ところで、ある教育誌に大学教授の手記が掲載されていました。最近電車の中で、改めて家庭教育、親の子どもに対するしつけの重要性を痛感させられたことがあります。私は、すわっていたのですが、電車が駅について停車したとき、隣の人が下車したので、前に立っていた人が座ろうとしていたところ、母親と中学生くらいの男の子が乗り込み、そして、座ろうとしていた人を押しのけて座り、「やった!」と叫んだのです。驚いたのはそれだけではありません。母親は「すいません」のひとこと言っただけです。この場面に遭遇して、この子は将来どんな人間に育っていくのだろうかと頭をよぎったのです。また、パソコンやスマートフォンの普及とともに、活用する人間のマナーも世の中の大きな問題となっています。勿論、若年層だけの問題ではありませんが……。これから先、IT機器を使いこなせることは、便利で仕事上も必要不可欠な時代だと考えています。結局、先程の電車の座席の件も含めて、最後は、人間性の問題だと思います。話は飛躍しますが、全世界の人が快く生活していくためには、法律(ルール)に記載されていないこの人間性を小さいころからあらゆる活動を通していかに磨いていくかだと思います。人間形成の仕方には、子どもの段階では、自由を許容し、大人とみなされる段階に達してからしつけなどを強化していく形と、逆に子どもの段階ではしつけをきちんと行い、自由を少しずつ増やしていく形があると思います。昔からの言い伝えで、「三つ子の魂百まで」と言うことばもあります。一方「不易と流行」ということばもあるように時代の流れとともにしつけの内容や方法も一考を要することも必要と考えますが、良き日本人の魂(こころ)は、大宮北中学校の良き伝統と同じように受け継いでいってほしいと思っています。

最後に、6月3日からの中学校総合体育大会参加について、自転車による移動があると思います。交通事故には十分気を付けてください。最近、自転車側が加害者となり、多額の賠償を請求されるケースも稀なことではありません。事故なく「北中魂」で健闘を祈っています。

氷川の森を前にして 鍛えたわざを今しめせ いざ戦わん どうどうと

北中 北中 大宮北中!!

*大宮北中学校応援歌2番歌詞より